

東畦 5 9 号水路周辺樋門設置基本検討業務委託

仕 様 書

令和 7 年度

岡山市南区農林水産振興課

第1章 総則

1-1 業務範囲

この仕様書は、東畦59号水路周辺樋門設置基本検討業務委託に適用する。
なお、本業務は、この仕様書によるほか次の図書を優先して適用するものとし、他の図書を適用する場合には、事前に監督員の承諾を得るものとする。

- ・「岡山県調査、設計、測量業務等共通仕様書」
- ・「調査、測量、設計業務共通仕様書」
- ・土地改良工事積算基準 令和7年度

1-2 適用範囲

業務は、本仕様書、特記仕様書及び現場説明書に従い履行しなければならない。

1-3 費用負担

業務の調査等に伴う費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者が負担する。

1-4 法律等の遵守

受注者は、業務の実施にあたり関連する法律等を遵守しなければならない。

1-5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとして中立性を保持するように努めなければならない。

1-6 秘密の保持

受注者は、業務上知りえた秘密を他人に漏らしてはならない。

1-7 公益確保の義務

受注者は、業務を行うに当たっては公共の安全、環境の保全その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

1-8 主任技術者及び技術者

(ア) 受注者は、主任技術者及び担当技術者をもって、秩序正しい業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

(イ) 受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1－9 工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1－10 成果物の審査

(ア) 受注者は、業務完了後に、本市の成果品審査を受けなければならない。

(イ) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、直ちに訂正しなければならない。

(ウ) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務の瑕疵が発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1－11 関係官公庁等の協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1－12 参考資料の貸与

岡山市は、業務に必要な関係資料等を所定の手続きによって貸与する。

1－13 参考文献等の明記

業務に文献その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記するものとする。

1－14 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項については、岡山市と受注者間で協議の上、これを定める。

第2章 事前調査

2－1 現地調査

仕様書に明記されている設計対象区域について、地形の状況、道路、宅地等の整備状況、道路の交通状況、水路の状況について現地調査を実施して十分に把握に努めなければならない。

2－2 地下埋設物及び架空線調査

仕様書に明記されている設計対象区域について、ガス・電気・電話等の地下埋設物の種類や位置等の把握に努めること。また、不明箇所は、関係機関に問い合わせるなど、工事に支障が無いように十分調査を行うこと。

2－3 公私道調査

道路・水路等について、特に樋門設置を検討する箇所は、公図及び土地台帳により確認を行っておくこと。

第3章 一般事項

3－1 打合せ

- (ア) 業務の実施にあたって、受注者は監督員と密接な連絡を取り、その連絡事項をその都度記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない（連絡は電話、FAX、その他手段を問わず、全て設計協議書として記録に残すこと）。
- (イ) 設計業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し相互に確認しなければならない。

3－2 設計基準等

本市の指定する図書及び本仕様書に準拠し、検討を行う上で、その基準となる事項については、監督員と協議の上定めるものとする。

3－3 設計上の疑義

設計上疑義の生じた場合は、監督員と協議の上、これらの解決にあたるものとする。仕様書に記載のない事項で、設計作業上、当然必要なものは、実施しなければならない。

3－4 検討書等の資料

計算根拠、資料等は全て明確にし、整理して提出しなければならない。

第4章 設計対象区域

4－1 既設状況写真

別紙1（位置図）と別紙5（現場写真）を参考とする。

4－2 東畦地内の水の流れ

別紙 2（東畦地内位置図）を参考とする。詳細は、現地操作員に聞き取りを行う。

4－3 設計対象区域

別紙 3（詳細位置図）を基本的な設計対象区域とする。ただし、東畦地内の水の流れも考慮した設計検討を実施すること。

第 5 章 基本検討細則

5－1 検討目的

昨今のゲリラ豪雨等で、多くの浸水被害が発生しているが、用水路の水位を効率よく操作することで未然に浸水被害を防ぐことが可能である。東畦 5 9 号水路周辺では、浸水被害を防ぐために、用水路に設置している、樋門、樋板（角落し）及び排水ポンプを事前に操作し浸水被害を回避してきたが、操作員の高齢化や担い手不足から水位調整が非常に困難となってきた。また、東畦 5 9 号水路は、排水だけではなく、農業用水及び防火用水でも活用していることから、非常に水位調整が難しい地域でもある。そこで、用水路の水位調整を効率よく行うため、複数個の樋門を設置することを検討したい。

5－2 現地確認と聞き取り調査

樋門設置計画を行うため、周囲の地形、地質、及び諸施設について別紙 1~4 を参考とし必要な現地調査を行うとともに、樋門操作員からの現状の聞き取りと操作状況等をまとめ更新計画を作成する。

5－3 東畦地内の水の流れの調査

樋門操作員と地元町内会に聞き取りを行い、東畦地内の詳細な水の流れを把握する。調査の結果を、新規樋門設置時の施工方法の検討材料とする。また、水の流れは、別紙 2 を参考とする。

5－4 新規樋門設置計画の提案

別紙 3 を参考に、新規樋門設置場所を計画する。また、樋門操作員の聞き取り及び工事の効率化等を比較して、新規樋門の設置順序を検討し提案すること。

5－5 工事方法の検討と提案

現地状況及び水の流れ等から、工事方法を検討する。また、水替え方法や施工時期など検討して提案すること。

5－6 新規樋門のスペックの検討と提案

新規で設置する樋門のスペックを以下の内容を含め提案する。

- (ア) 樋門の操作方法（手動樋門・電動樋門・操作盤の簡略化・遠隔操作など）
- (イ) 扉体の構造（材質・スライドゲートなど）
- (ウ) 樋門の構造（材質・開閉機仕様など）
- (エ) その他必要と思われるもの

5－7 概略設計図の作成

- (ア) 樋門の詳細設計に必要な東畦 59 号水路と取付付近の概略設計図
- (イ) 樋門等の概略設計図
- (ウ) その他必要と思われるもの

5－8 数量計算と概算金額の作成

概略設計図から数量計算を実施し概算工事金額を算出する。

5－9 協議資料のまとめ

検討業務で協議した内容を精査して報告書とする。

5－10 工事工程表の作成

基本検討した内容をもとに、工事工程表を作成する。

5－11 報告書作成

取りまとめの報告書を作成する。

5－12 打合せ

業務着手時、中間時、成果品納入時の計 3 回の打合せを実施する。ただし、必要に応じて監督員と打合せを行うこと。

5－13 その他

- (ア) 今回の調査では、ボーリング調査は行わないものとする。ボーリングに関しては周囲のデータで提供可能なものを提供する。ただし、そのデータが不十分な場合は、基本検討でボーリング調査が必要なことを報告書で提出することとする。
- (イ) 必要に応じて、懸念事項及び必要と思われる内容をまとめて報告すること。

第6章 照査

6－1 照査の目的

受注者は、業務を遂行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、照査計画に基づき照査を実施し、設計図書に誤りが無いように努めなければならない。

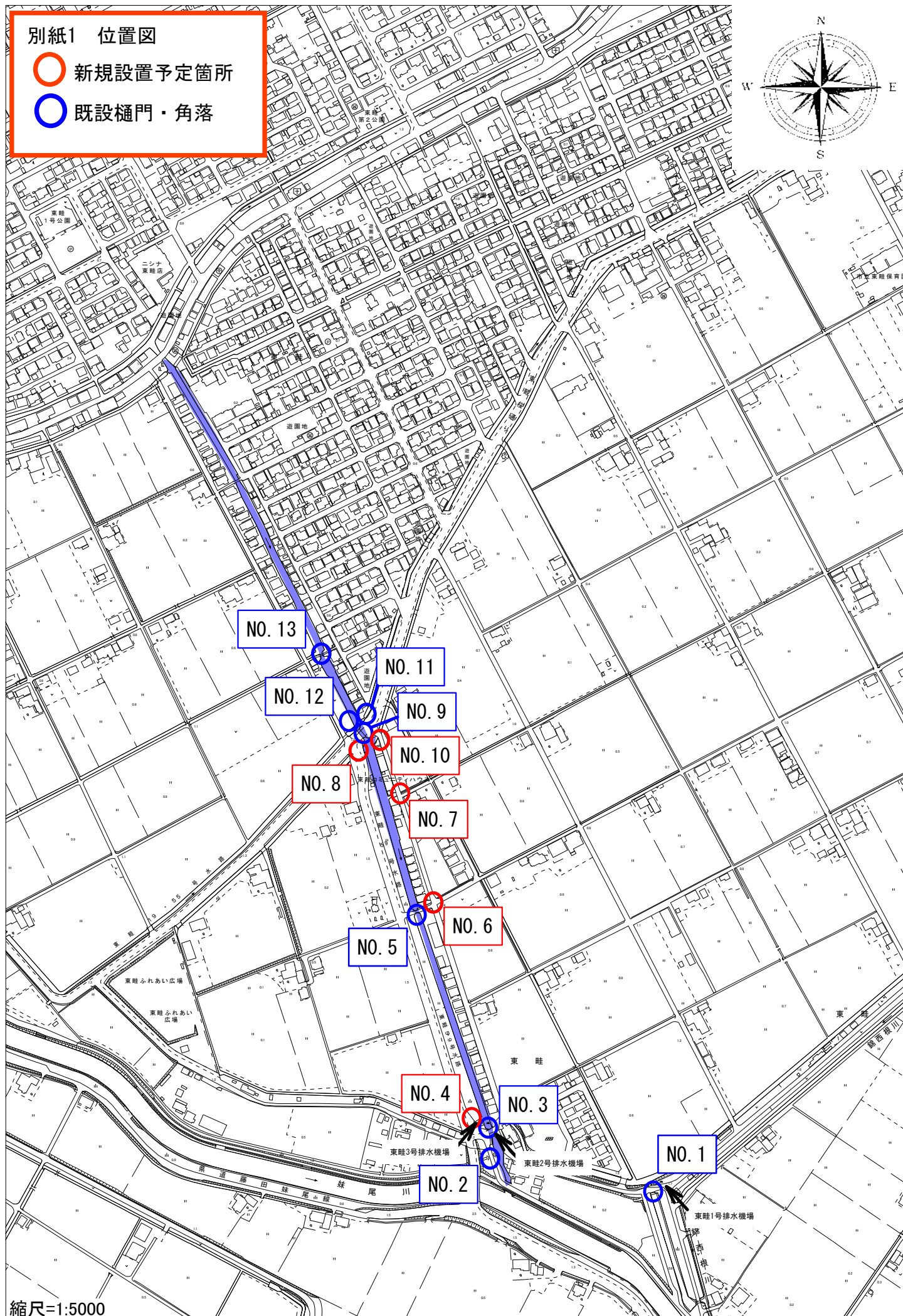
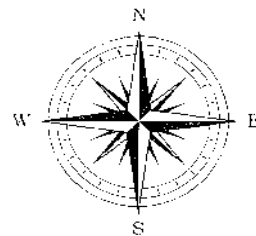
6－2 照査事項

受注者は、設計全般にわたり、以下の示す事項について照査を実施しなければならない。

- (ア) 基本条件の確認内容について
- (イ) 比較検討の方法及びその内容について
- (ウ) 設計計画（樋門構造、仮設計画等）の妥当性について
- (エ) その他必要と思われる事項について

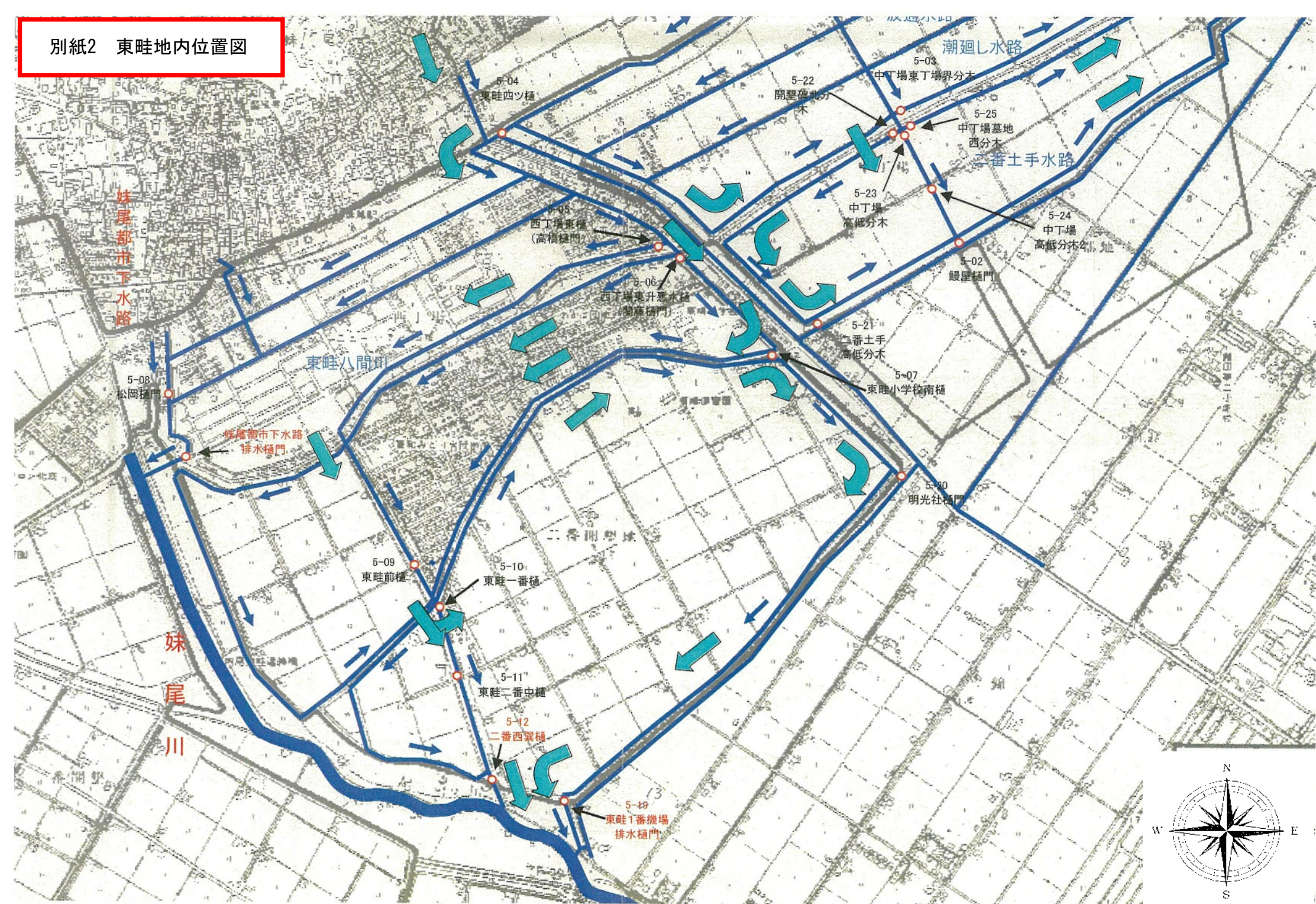
別紙1 位置図

- 新規設置予定箇所
- 既設樋門・角落



縮尺=1:5000

別紙2 東畦地内位置図



別紙3 詳細位置図



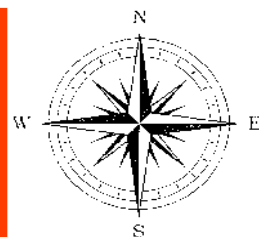
検討区域
(ただし、東畦地内の水の流れ
も検討必要)



新規樋門設置検討場所



既設樋門



東畦コミュニティハウス

東畦

59号水路

東畦59号水路

東 畦

妹

尾

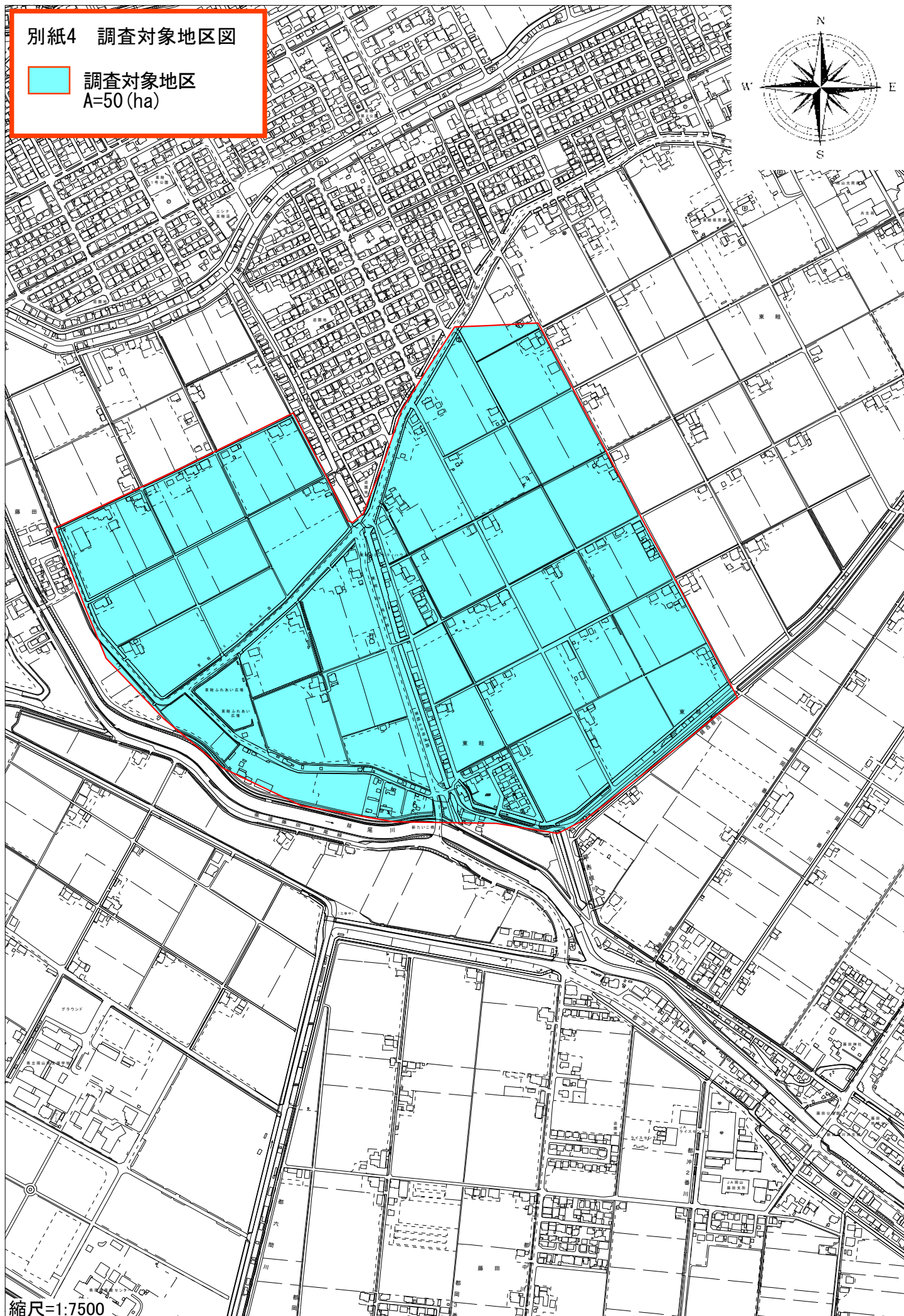
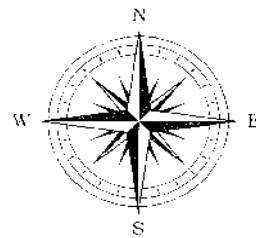
川

新しいこ橋

縮尺=1:2000

別紙4 調査対象地区図

調査対象地区
A=50 (ha)



縮尺=1:7500

現場写真

N0.1



N0.2



N0.3



N0.4



N0.5



N0.6







N0.7



N0.8



現場写真

N0.9		N0.10	
N0.11		N0.12	
N0.13	